

平成 22 年度 第 3 回認知症対策専門委員会 会議録(要旨)

- 1 日 時 平成 23 年 2 月 8 日(火) 18:30 ~ 20:00
- 2 場 所 市役所本庁舎 91 会議室
- 3 出席者
委 員 井田委員長、座小田委員、白木委員、田中委員、中村委員、野村委員、村上委員
(7 名)
事務局 高齢者支援課長、在宅高齢者支援係長、認知症対策担当係長
関係課 介護保険課：介護保険課長、企画管理係長
健康推進課：健康づくり係長、技術支援担当係長
精神保健福祉センター：所長、技術支援担当係長

4 会議経過(要旨)

【報告事項(1)】第 4 期市民後見人養成事業について

認知症高齢者の増加に伴い、成年後見制度のニーズが高まるなかで、家族や専門職後見人の不足を補完する目的で、平成 19 年度からスタートした社会貢献型市民後見人養成研修の、これまでの実績と活動状況について報告を行った。

その他、1 月に開催した「市民後見人」を目指す人のための講演会の報告や「第 4 期社会貢献型市民後見人の養成プロセス」、「平成 23 年度【基礎研修】プログラム予定」等について説明を行った。

【報告事項(2)】小・中学生向け認知症サポーター養成講座の実施について

12 月末現在のサポーター養成状況と、今年度の新規取り組みである小・中学生を対象としたサポーター養成状況について、児童・生徒のアンケート結果や感想、写真による当日の様子を、紙芝居の実演と併せて紹介した。

《質問・意見等》

紙芝居については、学年によっては、絵と話のギャップがきつところや、説明が長くなると分かりにくく、絵と合わなくなるといったところがあるので、この内容で、どの程度理解できるかを、学校の先生から情報収集したらよいのではないかとの意見が出された。

また、今後の課題として、子どもたちに介護体験を話せる人材の養成や、高齢者の多い地域の学校を選んで実施していくことも検討してほしいとの要望が出された。

【報告事項(3)】平成 21 年度「ものわすれ外来」受診者調査票結果等について

平成 21 年度、ものわすれ外来協力医療機関に、ものわすれを主訴として受診している 2,057 人の受診者調査結果について報告を行った。

ものわすれ外来協力医療機関に対し、アンケートにより医療機器などの情報収集を行っている。また、鑑別診断やかかりつけ医へのアドバイス等に対する自己評価を求めているとの説明があった。

その他、ものわすれ外来協力医療機関が保有している医療機器の一覧について紹介した。

《質問・意見等》

受診者調査で、若年性の患者についてもデータとして捉まえているのであれば、本人の就労に関する問題や介護する家族への支援など、総合的に検討して欲しいとの意見が出された。

～その他、委員から出された意見～

- ・ 認知症サポーター養成講座を受けても、その後何をしたらいいのか分からない人のために、フォローアップ講座の実施やサポーターへの活動場所の紹介をしてはどうか。
- ・ 地域で誰に支援を頼んだらいいのか分からないという人のために、こども 110 番のような目印となるものがあたらいいのではないか。